児童発達支援事業所における自己評価結果（公

討議年月日：令和 5 年 3 月 1 日

事業所名　RAINBOW名東一社クラブ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			10名定員となります。
	2	職員の配置数は適切である	2			引き続き、加配人員の拡充などにも努力して参ります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	1		トイレ以外は基本的にバリアフリー化されています。その他、利用者の年齢や特性に応じた環境作りに努めています。また、視覚に訴えかける情報伝達ツールを用意しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5			施設の清掃・消毒等の徹底を毎日励行しております。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	1		毎日ミーティングを行い、新しいことに取り組む際、常に振り返り⇒改善点の洗い出し⇒再試行を繰り返し実践しております。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			送迎時に積極的に保護者とコミュニケーションを取り、それらの結果を職員間で共有を図っています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2			ホームページにて公開をしております。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている				第三者による外部評価は実施しておりません。今後、検討して参ります。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			原則、毎月「オンライン研修会」などを実施しております。今後は内容の充実・質の向上が課題だと認識しております。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5			ご契約締結時や「個別支援計画書」の更新時期において、各保護者と面談を実施し、保護者のニーズを分析し、かつ職員の観点も反映した実効的な計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			「脳バランサーキッズ」（デジタル認知テスト）を活用して、ワーキングメモリの強化などの脳トレを実施している。今後は「バインランドⅡ」などのツールを活用して、実効性を高めていくことが課題と認識
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5			それぞれの支援項目を適切に設定し、子どもへの支援にあたっております。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5			上記のとおり
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1		職員全員の意見が反映できるよう努めて参ります。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			毎月、日替わりプログラムを策定しています。とりわけ、集団における活動を実施できるよう努めております。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	3			「個別支援計画書」に子どもの状況を反映し、それに基づいて支援・療育を実践しております。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			毎日、サービス提供時間前に職員間でのミーティングを行い、当日の学習担当者の設定・送迎の時間確認・日替わりプログラムの内容確認・その他注意事項の確認などを行っております。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有している	3			非常勤の職員もいる中で、全職員が集まって打ち合わせを行うことは難しいものの、スマートフォンや送迎前の伝達時などを活用して、気付きや連携事項の共有化を図っております。また、メモ書きを作成して担当ドライバーへの情報引継ぎを行って
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			主に「HUG」システムを活用して、日々の活動支援や活動記録・ケア記録を記載・保存しております。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5			主に送迎時のタイミングを活用して、保護者とはコミュニケーションを図っております。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			社会福祉協議会とのZOOMによる「サービス担当者会議」は定期的に実施しており、各関係機関との情報の共有化を積極的に図っております。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5			必要に応じて、保育園・幼稚園・児童相談所とも連携をとり、子どもへの均一的な支援を行えるよう努めております。
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				アンケート集計時、医療的ケアが必要な子どもはいません。
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				アンケート集計時、医療的ケアが必要な子どもはいません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4			気になる点がある場合については、個別にヒアリングを行っております。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4			気になる点がある場合については、個別にヒアリングを行っております。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1		当該専門機関と十分に連携をして、助言や研修を受けるまでには至っていないです。今後の課題として、前向きに検討して参ります。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	2		送迎時において、他の保育園・幼稚園などとの交流やコミュニケーションを図っております。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している				コロナ禍のため、実施を見合わせております。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			主に「HUG」システムのマイページを活用して、日々の学習内容・活動内容などを写真とともに各保護者に連携しております。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	2	3		モニタリング実施時や送迎時などを活用して、保護者とコミュニケーションを図る中で、事業所内での取り組みと方向性を一にできるようお話をしております。ただ、より専門的なペアレント・トレーニングは実施できていないので、今後の課題として認識
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			契約時に丁寧にご説明をしております。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5			コロナ禍ではあるものの、希望をされない保護者を除いては基本的に面談にて「児童発達支援計画」の内容を示しながらご説明をし、納得の上同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			保護者からのご相談などについては、職員間で共有する中で、様々な角度からの検証を行って、ご回答をするよう心掛けております。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している				コロナ禍のため、実施を見合わせております。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4			毎日のミーティングにてそれらの情報を職員間にて共有化しており、できるだけ迅速に対応回答していくよう努めております。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			主に「HUG」システムのマイページを活用して、日々の活動内容などを写真とともに各保護者に連携しております。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5			十二分に注意を払って、運営しております。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			保護者との連絡手段である「HUG」システムのマイページにおいて、当日の活動内容をより分かりやすく丁寧に記載させていただいており、また当該内容については、複数人でチェックを行っておりま
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている				コロナ禍のため、実施を見合わせております。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5			各種のマニュアルについては、事務所内に備え付けて職員間においては周知しているものの、保護者に向けてはご案内できておりません。今後の課題として、検討して参ります。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			名古屋市の条例に従って、毎月、避難訓練を実施しております。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4			該当の子どもについては、職員間で共有するとともに、日々のミーティング時に再度確認を行っております。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4			該当の子どもについては、職員間で共有するとともに、飲食時は他の子どもと離して食事をとらせるなどの対応をしております。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3			ヒヤリハット発生時は、事実経緯書を作成して、各職員間で共有しており、再発防止に努めております。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			虐待防止委員会を設置して、職員間においても過去の事例などを周知し、今後の取り組みについての研修会を実施しております。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4			契約締結時において、重要事項説明の際、各保護者に当事業所の取組み方針について丁寧に説明をさせていただいております。

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。